

# インクルーシブ教育システム構築に向けた支援

## インクルーシブ教育システム推進センター

平成28年4月、インクルーシブ教育システム構築に向けた地域や教育現場における取組を支援することを目的として、「インクルーシブ教育システム推進センター」を開設しました。

センターでは、地域が直面する課題に対応した研究（地域実践研究）の推進、国際的動向の把握や諸外国の最新情報の収集及び海外との研究交流、インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）の整備・情報提供を行っています。



インクルーシブ教育システム普及セミナー

詳しくはこちら→

NISE WEBサイト > インクルーシブ教育システム推進センター

<http://www.nise.go.jp/sc/i-center/>

## 地域実践研究（地域や学校の課題解決に資する研究）

地域や学校が直面する課題を研究テーマに設定し、その解決を目指して、NISEの研究者と各教育委員会より派遣された地域実践研究員が協働して研究に取り組みます。1年間の長期派遣型研究員制度に加え、平成29年度からは短期派遣型研究員制度、平成30年度からは市町村教育委員会からの派遣制度を設け、地域とのより一層緊密な連携協力関係をつくり、課題解決につなげるとともに、研究成果やインクルーシブ教育システムの最新情報を提供することで、地域の理解啓発を推進します。

### 地域実践研究募集テーマ一覧

メインテーマ	サブテーマ	研究期間
インクルーシブ教育システムの構築に向けた体制整備に関する研究	地域におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する研究	平成28～29年度
	インクルーシブ教育システムの構築に向けた研修に関する研究	平成28～29年度
	教育相談・就学先決定に関する研究	平成30～31年度
	インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究	平成30～31年度
インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育に関する実際研究	交流及び共同学習の推進に関する研究	平成28～29年度
	教材教具の活用と評価に関する研究	平成28～29年度
	多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究	平成30～31年度
	学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究	平成30～31年度

## 地域実践研究フォーラムの報告

地域実践研究に参加している都道府県・市において、地域実践研究の成果を速やかに普及し、インクルーシブ教育システム構築の推進に資することを目的として、「地域実践研究フォーラム」を開催しています。

平成29年度においては、以下の8県・市において開催しました。

- インクルーシブ教育システム構築に関する研究  
奈良県、和歌山県
- インクルーシブ教育システム構築に向けた研修に関する研究  
埼玉県、千葉県、青森県、神戸市
- 交流及び共同学習の推進に関する研究  
静岡県
- 教材教具の活用と評価に関する研究  
長野県

これらの地域実践研究フォーラムには、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員、県教育委員会及び市町村教育委員会の職員、保護者など、1,200名程の方々（各フォーラム60～300名参加）が参加し、NISEや地域実践研究に対する期待や要望が寄せられました。



長野県での地域実践研究フォーラムの様子



青森県での地域実践研究フォーラムの様子

## インクルーシブ教育システム普及セミナー

地域におけるインクルーシブ教育システムの推進をバックアップすることを目的として、普及セミナーを開催しています。以下の地区で、開催地の教育委員会と共催し、各地域・学校における多様な取組や講演、インクルーシブ教育システム推進センターの活動報告等を通し、取組と知見を共有しました。

- 平成28年度
  - 北海道（北海道・東北地区）
    - リレー講演「特別支援学校のセンター的機能とコーディネート」（大学教員）
    - 「計画的・組織的な交流及び共同学習の推進」（大学教員）
- 平成29年度
  - 沖縄県（九州・沖縄地区）
    - 実践報告「学校のチャンスを活かした、ともに楽しみ学び育つ教育実践」（小学校長）
    - 報告「沖縄県におけるインクルーシブ教育システム構築の現状と課題」（大学教員）
  - 岡山県（中国・四国地区）
    - 岡山県におけるインクルーシブ教育システム推進の取組
      - ・岡山県の取組について（県教育庁特別支援教育課）
      - ・センター的機能や通級指導教室充実の観点から（小学校長）
      - ・一人一人が笑顔に！就学前からの発達支援事業から（県特別支援教育専門家チーム員）
      - ・通常の学級における特別支援教育ブロックリーダー活用事業から（小学校教員）

今後、それぞれの地域や学校において、セミナーで得た情報をもとに取組が広がっていくことを期待しています。

平成30年度は、奈良県（近畿地区）において開催する予定です。

# 諸外国の最新動向の把握や海外の機関との研究交流

NISEでは、我が国の特別支援教育の取組や研究成果を海外に情報発信するとともに、国別調査班を組織して諸外国の障害のある子どもの教育に関する政策等の状況を収集し、その調査結果を国際シンポジウムや特総研ジャーナル等を通じて公表しています。

また、海外の大学・研究機関との交流協定の締結、研究職員の海外派遣、外国人研究者等の受入を通じて、特別支援教育の研究における国際交流を行っています。



フランス国立特別支援教育高等研究所との交流協定調印式

## ◆ 海外の大学・研究機関との交流協定の締結

海外の大学・研究機関と交流協定を締結し、研究集会等への参加、特別支援教育に関する情報交換、研究者間の交流を行っています。

### 【 研究交流協定締結機関 】

- ・韓国国立特殊教育院（平成7年11月締結）
- ・ケルン大学人間科学部（平成10年11月締結）
- ・フランス国立特別支援教育高等研究所（平成27年3月締結）



米国から来訪した研究者との意見交換会

## ◆ 研究職員の海外派遣

国際会議への参加・発表や状況調査等のため、研究職員を海外に派遣し、研究交流を行っています。

また、諸外国のインクルーシブ教育の構築に係る最新動向を現地で収集するため、平成28年度より新たにNISEの研究職員を海外の研究機関等に長期で派遣しています。

平成29年度 研究職員の海外派遣者数：延べ13名



中国自閉症福祉機関関係者の受入

## ◆ 外国人研究者等の受入

外国人研究者等をNISEに受け入れ、研究交流を行っています。

また、独立行政法人国際協力機構（JICA）等の依頼により、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修を受け入れています。

平成29年度 外国人研究者等の受入数：164名



JICA研修員の受入の様子

お問い合わせ→

総務部総務企画課（総務・広報係）

E-mail: [a-kokusai@nise.go.jp](mailto:a-kokusai@nise.go.jp)

# インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）

平成24年7月、中央教育審議会初等中等教育分科会において、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」が報告されました。

これを受けて、NISEでは、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を広く提供するために、「インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）」を、平成25年11月から運用しています。

## ◆ インクルDBのコンテンツ

### 【合理的配慮実践事例データベース】

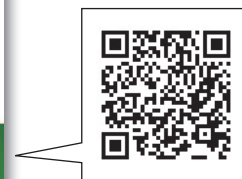
文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」における取組の実践事例について検索するシステム（データベース）です。平成30年4月1日現在、362件の実践事例を掲載しています。

### 【相談コーナー】

インクルーシブ教育システム構築に関する相談を行っています。

### 【関連情報】

- ・ 障害者の権利に関する条約への対応
- ・ 関連する法令・施策
- ・ 関係用語の解説
- ・ Q&A
- ・ その他関連情報



詳しくはこちら→

インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）

<http://inclusive.nise.go.jp/>

## インクルDBの活用に関する相談支援

NISEでは、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、都道府県・市町村・学校が直面する課題解決を支援するため、各都道府県・市町村・学校からのインクルDBの活用に関する相談に応えています。